

平成 30 年度冬季
カウンセリング・ワークショップ

〈御案内〉



——主催——

一般財団法人 日本カウンセリング・センター
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-14-39
T E L . 03 - 3951 - 3637
F A X . 03 - 3951 - 1808
E - M a i l . c _ c e n t e r @ h b . t p 1 . j p
U R L . <http://nihon-counseling.org/>
振 替 口 座 00170-8-20506
取 引 銀 行 りそな銀行目白出張所 No.881374(普通)



このワークショップは、「**通いのワークショップ**」です。宿泊および昼食のお世話は致しませんので、必要な方は各自ご手配、ご用意ください。

会 場 一般財団法人 日本カウンセリング・センター2 階研修室
(JR 山手線目白駅下車、徒歩約 10 分)
会 期 11 月 30 日(金) ~12 月 2 日(日) 時間は 3 日間とも 10 : 00 ~ 17 : 00
会 費 18,000 円(研修費・茶菓子代)
定 員 20 名
世 話 人 水野明(当法人世話人)ほか
申込期日 11 月 28 日(水)21:00 まで
申 込 先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局



このワークショップの目的と特質

ここにご案内するワークショップは、世のいわゆる講習会とは、著しく目的・性格を異にしております。自分とは関係も縁もない誰かが決めた線に沿って、身体を運んでゆきさえすれば、世のいわゆる講師が壇上から抽象概念を降り注ぎ注入してくれる、といったタイプの会合ではありません。もちろん、参加者の要望・要請によって、講演とか講義とかいう言葉で呼ばれている場面が展開することもないわけではありませんが、しかしそのような場面をも含んで、会期中のほとんどすべてが、何よりも参加者各自の参加目的に沿って展開されることが、基本的に目ざされている会合なのであります。端的に申し上げれば、文字通りの「**身心学道**の場」なのであります。

このことは、決して決して奇異をてらっての妄言でもなければまた、人心をあおる宣伝文句でもなく、特に現代においてはきわめて切実かつ緊急な課題への、きわめて古いがしかしいよいよ新鮮さを甦らせている現実的な取り組み(アプローチ)を、率直かつ端的に表明しております。それだけに、不知不識のうちに既成の諸概念によって枠づけられ、しかも既成の社会的体制によって強化されてしまっている思考形式によっては、少々ならず理解し難い記述であろうかと想います。しかし、もしも読者が、ニュートン物理学、今日のいわゆる「古典物理学」、を武器もしくは拠りどころとして増強の一途を辿ってきた産業主義的諸概念から己れを解き放ち、種々様々な困惑させられる今日の事態から直接に感得されている己れ的心情に即して読んで下さるならば、おぼろげながらにでもこのワークショップの目的と特質とが浮かび上ってくる己れに気づくのではないのでしょうか？

わが国ではその名を広く知られている現代の碩学・糸川英夫氏(組織工学研究所々長)は、「リフキンの本を読んで、私がしばらくは立ち直れそうにもないショックを受け、憂鬱な気分になり落ち込んでしまった理由」を、その著「第三の道——インドと日本とエントロピー」(株式会社 CBS・ソニー出版)で告白・概説しておられるのを読まれた方々もおられるでしょうが、そしてさらに、竹内 均氏が訳出されたそのリフキンの「エントロピーの法則」(祥伝社刊)やカプラの「ターニング・ポイント」・「タオ自然学」(工作舎)、あるいはブルックスの「センサリー・アウェアネス」(誠信書房)などをもお読みになられた方々もおられるでしょうが、もしもこれらをお読みになられたならば、ニュートン物理学が、いわゆる「教育」の分野においてもどれだけ猛威を振って今日の荒廃をもたらしているかは、すでに十二分にご了承・ご洞察ズミのことでしょう。私どもに残され課せられている道はただひとつ、「機械論的世界観」によって破滅の淵に追い詰められている私ども人間が、——糸川氏の言葉を借りれば「終末の様相をみせてきた“先進諸国”(もしかすると、先に地獄へ進むという意味かも知れない)」というその「地獄への進路」を、できるだけ早く、かつ、効果的に閉塞すべく勇気を振り起こすことであり、さらには新しい創造的・開拓的な活動へと、人それぞれの分に応じて参加し参与してゆくことなのであります。

端的に申し上げれば、「誰かがなんとかしてくれるであろう」時代が急ピッチで終末段階に向かいつつある現代において、言わば「生命感覚」を頼りに己れのをシッカリと見定め、己れの足で立ちかつ歩くことが、何よりも肝要な緊急事となっているのであります。そして、ここにご案内するワークショップは、「そのための**体験学習**の場」以外の何ものでもないのであります。

友田不二男



＜申込方法と備考＞

- (1) 巻末の参加申込書に必要事項を記入し、事務局宛に郵送・FAXでお送りください。もしくは、事務局のメールアドレスに必要事項を入力し「夏季ワーク〇〇会場参加申し込み」などの件名で送信ください。申込金¥5,000 は、銀行振込・口座振替・現金書留・当日持参のいずれかでお支払いください。(電話による申し込みも可)
- (2) お申し込みいただきますと、当方より折り返して「参加承諾証」をお届けいたしますので、この「参加承諾証」を会場にご持参ください。会場受付において申込金を会費に繰り入れます。
- (3) お申し込み後、なんらかのご事情で参加できなくなった場合には「参加承諾証」をどなたかにお譲りください。または、同年度内の別の会場に振り替えることは構いませんが、いずれの場合も申込会場の申込締め切り期日前にお知らせください。
- (4) 定員に達した場合は、申込期日前でも締め切ります。お含みおきください。
- (5) 申込期日前に締め切った場合は、返送料を差し引いて申込金をお返しいたします。
- (6) 特別の事情がある場合には、世話人が変更されることがありますので、その場合にはご了承ください。
- (7) 申込金を銀行振り込みされる場合は、一般財団法人 日本カウンセリング・センターの口座にお振り込みください

。(振込先:りそな銀行目白出張所(普)No.881374)

平成 30 年度・冬季カウンセリング・ワークショップ参加申込書

申込金の送金方法 りそな銀行目白出張所 振替口座(表紙参照)
現金書留 当日持参

平成 年 月 日

現住所	〒		
電話番号		E-mail	
ふりがな			生年月日
氏名	Ⓜ		性別
所属機関			
	男・女		

※ E-mail(メールアドレス)・生年月日・性別・所属機関の記入は任意です。

一般財団法人 日本カウンセリング・センター 御中